

質問

ごみのリサイクル率の向上は

町長

分別排出の意義を呼びかける



糸原 文昭 議員

質問

今年3月奥出雲町一般廃棄物処理基本計画が策定されたが、本町のリサイクル率は低い。今後どのようにリサイクル率を上げていくのか。

町長 リサイクル推進計画に基づき、分別排出の意義を認識してもらえよう。

分別説明会の実施など、広く呼びかけていく。

質問

高齢化が進み、これまで地域の助け合いで何とかごみを出せたが、今後持ち出すことができない町民が増えるのでは、個別収集をどう考えているのか。

町長 高齢化等の実態も踏まえながら、雲南市、飯南町とも協議を重ねて、よりよい方法を導き出していく。

質問

雲南圏域一般廃棄物処理施設総合整備構想が出された。令和11年度最終処分場の供用開始、令和14年度、ごみ処理施設と資源リサイクル施設の運用が開始される。今後20年間の施設整備費、維持管理費及び収集運搬費の合計は、176億4千万円もの費用がかかるが、町民への周知は。

町長 多額の費用を要する大事業で、適宜町民の皆様、議会への十分な情報提供に努め、事業を進めていく。

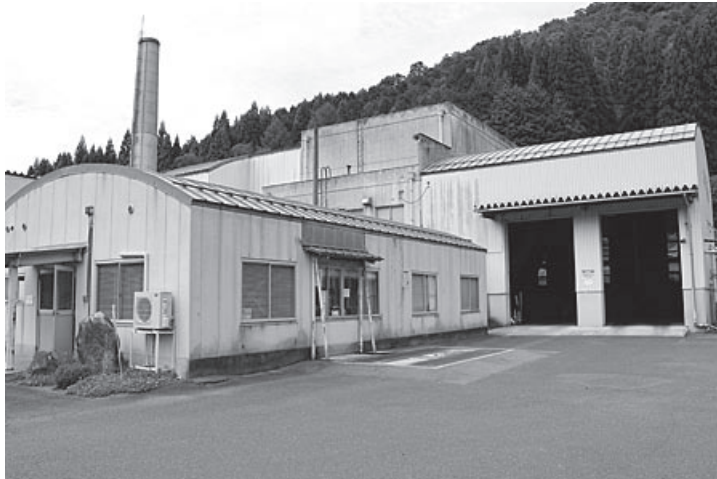
観光について

のか。

質問 昨年、境港へ入港したクルーズ船28隻の乗客数は、約3万3千人となった。奥出雲町としての対応やPRは。

定住産業課長 観光協会ではツアーの企画・旅行会社に向けての情報提供や各種提案等を行っている。県の観光振興課国際観光推進室が台湾の旅行会社などへ、町内観光地の売り込みを行っている。

町長 たたら製鉄、美肌温泉、神話、自然景勝地、歴史、文化などの地域資源が数多くある。これを生かした滞在型・体験型の観光商品の充実を図り、観光振興につなげていく。



仁多可燃物処理センターの外観



R6. 9. 28境港入港 ウエステルダム号 乗客定員1964人